

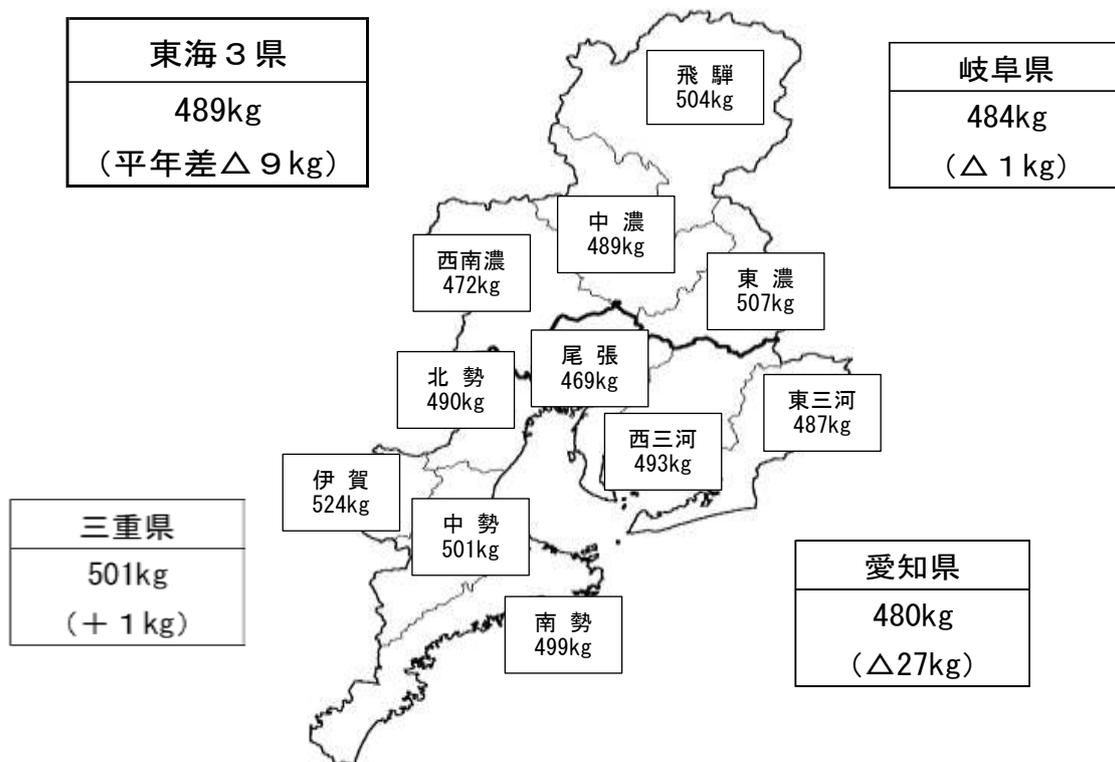
作物統計調査 令和5年産水稻の収穫量

— 水稻の収穫量（主食用）は33万8,600 t —

【調査結果の概要】

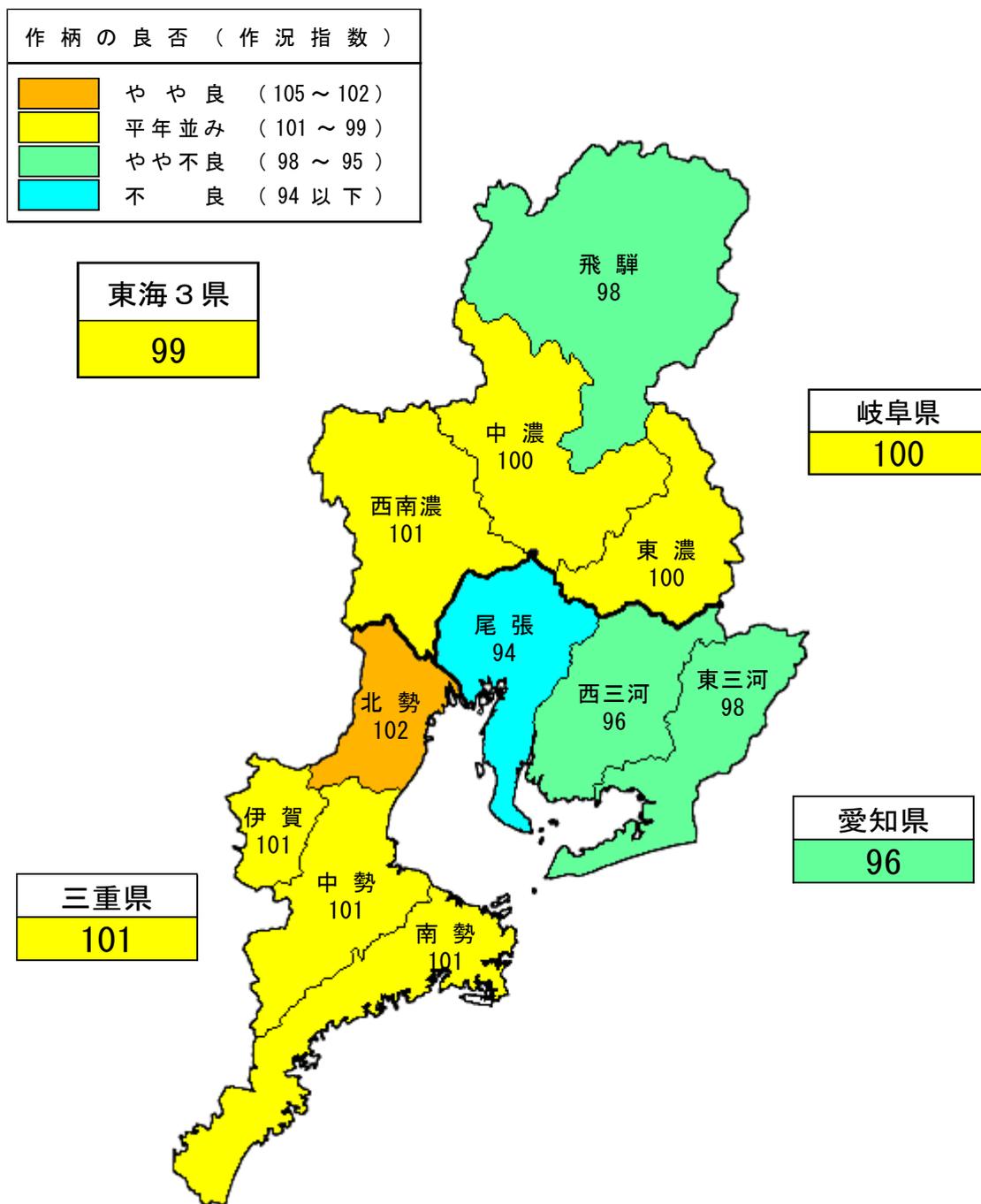
- 1 東海3県（岐阜、愛知及び三重）における令和5年産水稻の作付面積（子実用）は7万1,700ha（前年産に比べ400ha減少）となった。うち主食用作付面積は6万9,300ha（前年産に比べ1,000ha減少）となった。
- 2 水稻の10a当たり収量は489kgとなった。
- 3 以上の結果、収穫量（子実用）は35万300t（前年産に比べ1万2,100t減少）となった。このうち、主食用の収穫量は33万8,600t（前年産に比べ1万4,900t減少）となった。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99となった。

図1 県・作柄表示地帯別10a当たり収量
(1.70mmのふるい目幅ベース)



- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。なお、農家等が使用しているふるい目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）ベースの作況指数は2ページを参照。
- 東海3県は東海農政局が管轄する地域（静岡県を含まない。）であり、全国農業地域における東海（静岡県を含む。）とは一致しない。

図2 県・作柄表示地帯別作況指数
(農家等が使用しているふるい目幅ベース)



注： 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

◎ 累年データ

1 水稻（子実用）の年次別推移

(1) 東海3県

年 産	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成26年産	82,900	493	408,700	80,900	398,300	99
27	78,900	492	388,200	77,000	378,800	99
28	77,500	511	396,300	75,600	386,500	102
29	76,700	494	379,200	74,900	369,700	99
30	77,600	493	382,500	75,300	371,200	98
令和元	77,400	486	375,900	75,000	364,100	97
2	77,000	480	369,900	74,500	357,900	96
3	74,300	490	364,300	72,400	355,100	98
4	72,100	503	362,400	70,300	353,500	101
5	71,700	489	350,300	69,300	338,600	99

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下、(4)まで同じ。）

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である（以下、(4)まで同じ。）。

2 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である（以下、(4)まで同じ。）。

3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（以下、(4)まで同じ。）。

4 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、平成26年産以前は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までは、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（東海は1.80mm）以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降は、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である（以下、(4)まで同じ。）。

(2) 岐阜県

年 産	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
平成26年産	24,100	482	116,200	23,500	113,300	99
27	22,500	481	108,200	22,100	106,300	99
28	22,200	486	107,900	21,700	105,500	100
29	21,900	488	106,900	21,500	104,900	100
30	22,500	478	107,600	21,500	102,800	97
令和元	22,500	482	108,500	21,400	103,100	99
2	22,500	470	105,800	21,400	100,600	96
3	21,600	478	103,200	20,700	98,900	98
4	20,700	487	100,800	20,000	97,400	100
5	20,700	484	100,200	19,700	95,300	100

(3) 愛知県

年 産	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
平成26年産	29,300	504	147,700	28,400	143,100	99
27	28,100	503	141,300	27,200	136,800	99
28	27,700	521	144,300	26,900	140,100	103
29	27,500	512	140,800	26,600	136,200	101
30	27,600	499	137,700	26,700	133,200	98
令和元	27,500	499	137,200	26,600	132,700	98
2	27,400	490	134,300	26,400	129,400	96
3	26,400	496	130,900	25,800	128,000	98
4	25,900	505	130,800	25,200	127,300	100
5	25,800	480	123,800	24,700	118,600	96

(4) 三重県

年 産	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
平成26年産	29,500	491	144,800	28,900	141,900	98
27	28,300	490	138,700	27,700	135,700	98
28	27,600	522	144,100	27,000	140,900	105
29	27,400	480	131,500	26,800	128,600	95
30	27,500	499	137,200	27,100	135,200	100
令和元	27,300	477	130,200	26,900	128,300	95
2	27,100	479	129,800	26,700	127,900	96
3	26,300	495	130,200	25,900	128,200	99
4	25,600	511	130,800	25,200	128,800	102
5	25,200	501	126,300	24,900	124,700	101

2 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている（18ページ【参考1】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の数値並びにふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の数値を示すと次のとおりである。

(1) ふるい目幅別重量分布状況の推移（東海3県）

単位：%

年産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
平成30年産	100.0	0.8	1.4	2.1	2.4	12.5	80.8
令和元	100.0	0.8	1.3	2.1	2.6	12.7	80.5
2	100.0	0.9	1.4	2.0	2.4	11.0	82.3
3	100.0	0.8	1.3	1.8	2.3	11.3	82.5
4	100.0	0.9	1.3	1.6	2.3	8.2	85.7
5	100.0	0.7	1.0	1.3	1.8	6.7	88.5
平均値	100.0	0.8	1.3	1.9	2.4	11.1	82.5
対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.6	△ 4.4	6.0

注：平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

(2) ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（東海3県）

年産		単位	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
平成30年産	10a当たり収量	kg	493	489	482	472	460	398
	収穫量	t	382,500	379,400	374,100	366,100	356,900	309,100
令和元	10a当たり収量	kg	486	482	476	466	453	391
	収穫量	t	375,900	372,900	368,000	360,100	350,300	302,600
2	10a当たり収量	kg	480	476	469	459	448	395
	収穫量	t	369,900	366,600	361,400	354,000	345,100	304,400
3	10a当たり収量	kg	490	486	480	471	460	404
	収穫量	t	364,300	361,400	356,700	350,100	341,700	300,500
4	10a当たり収量	kg	503	498	492	484	472	431
	収穫量	t	362,400	359,100	354,400	348,600	340,300	310,600
5	10a当たり収量	kg	489	486	481	474	466	433
	収穫量	t	350,300	347,800	344,300	339,800	333,500	310,000
	対前年比(収穫量)	%	97	97	97	97	98	100

注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、東海3県の10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、東海3県の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

【調査結果】

1 東海3県

(1) 作付面積

令和5年産水稲の作付面積（子実用）は7万1,700ha（前年産に比べ400ha減少）となった。

また、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は6万9,300ha（前年産に比べ1,000ha減少）となった。

(2) 作柄概況

全もみ数は、三重県でやや多く、岐阜県で平年並み、愛知県でやや少なくなった。

登熟は、東海3県ともに平年並みとなった。

水稲の10a当たり収量は489kg（平年に比べ△9kg）となった。県別は、岐阜県で484kg（同△1kg）、愛知県で480kg（同△27kg）、三重県で501kg（同+1kg）となった。

農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99の「平年並み」となった。県別は、三重県で101、岐阜県で100の「平年並み」、愛知県で96の「やや不良」となった。

(3) 収穫量

収穫量（子実用）は、35万300t（前年産に比べ1万2,100t減少）となった。このうち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、33万8,600t（前年産に比べ1万4,900t減少）となった。

表1 令和5年産水稲の作付面積及び収穫量

区 分	作付面積（子実用）			10a当たり収量			収穫量（子実用）			主食用 作付面積 ④	収穫量 （主食用） ⑤=④×②	作況指数
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	平年 との比較	前年産 との比較	実 数 ③=①×②	前年産との比較				
		対 差	対 比		対 差	対 差		対 差	対 比			
	ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t	
東海3県	71,700	△400	99	489	△9	△14	350,300	△12,100	97	69,300	338,600	99
岐 阜 県	20,700	0	100	484	△1	△3	100,200	△600	99	19,700	95,300	100
愛 知 県	25,800	△100	100	480	△27	△25	123,800	△7,000	95	24,700	118,600	96
三 重 県	25,200	△400	98	501	1	△10	126,300	△4,500	97	24,900	124,700	101

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 10a当たり収量及び収穫量（子実用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

4 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

5 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

表2 令和5年産ふるい目幅別重量分布状況

単位：%

区 分		計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
東 海 3 県	重量割合	100.0	0.7	1.0	1.3	1.8	6.7	88.5
	平均値	100.0	0.8	1.3	1.9	2.4	11.1	82.5
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.6	△ 4.4	6.0
岐 阜 県 (1.80mm)	重量割合	100.0	0.7	0.9	1.0	1.9	5.5	90.0
	平均値	100.0	0.9	1.4	1.9	2.5	12.0	81.3
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.9	△ 0.6	△ 6.5	8.7
愛 知 県 (1.85mm)	重量割合	100.0	0.6	0.9	1.1	1.7	6.6	89.1
	平均値	100.0	0.7	1.2	1.8	2.6	11.2	82.5
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.9	△ 4.6	6.6
三 重 県 (1.85mm)	重量割合	100.0	0.8	1.2	1.6	1.8	7.8	86.8
	平均値	100.0	0.9	1.4	2.1	2.2	10.4	83.0
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.4	△ 2.6	3.8

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

2 県名の下に記載されている括弧内の数値は、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）である（以下、表3において同じ。）。

表3 令和5年産ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）

区 分		単 位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
東 海 3 県	10 a 当たり収量	kg	489	486	481	474	466	433
	収穫量（子実用）	t	350,300	347,800	344,300	339,800	333,500	310,000
岐 阜 県 (1.80mm)	10 a 当たり収量	kg	484	481	476	471	462	436
	収穫量（子実用）	t	100,200	99,500	98,600	97,600	95,700	90,200
愛 知 県 (1.85mm)	10 a 当たり収量	kg	480	477	473	468	459	428
	収穫量（子実用）	t	123,800	123,100	121,900	120,600	118,500	110,300
三 重 県 (1.85mm)	10 a 当たり収量	kg	501	497	491	483	474	435
	収穫量（子実用）	t	126,300	125,300	123,800	121,800	119,500	109,600

注：1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、東海3県又は県別の10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、東海3県又は県別の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

表4 令和5年産水稻における農家等が使用したふるい目幅の分布
【令和5年産水稻作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

単位：％

区 分	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
東海3県	100.0	0.3	-	18.1	61.6	19.2	0.8

注： 農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稻作況標本（基準）筆農家が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

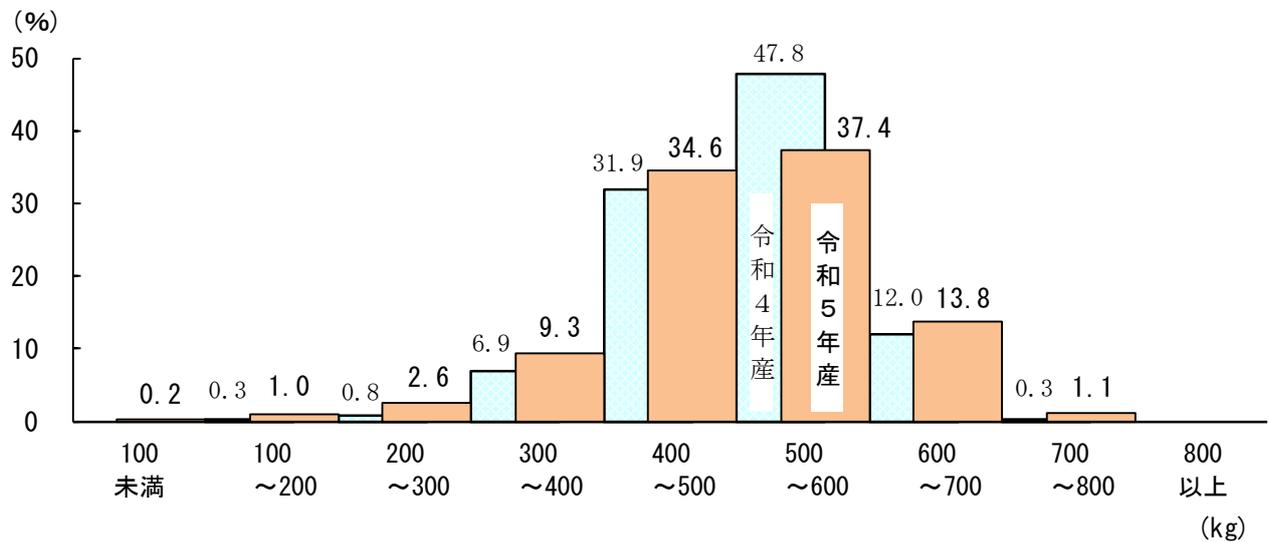
表5 令和5年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（東海3県）

単位：％

区 分	計	100kg 未 満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以 上
筆数割合	100.0	0.2	1.0	2.6	9.3	34.6	37.4	13.8	1.1	-
前 年 値	100.0	-	0.3	0.8	6.9	31.9	47.8	12.0	0.3	-
対前年差（ポイント）	0.0	0.2	0.7	1.8	2.4	2.7	△ 10.4	1.8	0.8	-

注：10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

図3 令和5年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（東海3県）



2 岐阜県

(1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（子実用）は2万700haで前年産並みとなった。また、主食用作付面積は1万9,700ha（前年産に比べ300ha減少）となった。

(2) 作柄概況

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、平年並みとなった。

登熟は、7月からの高温等の影響で不稔もみが多かったものの、粒の肥大・充実が進んだことから、平年並みとなった。

水稻の10a当たり収量は484kg（平年に比べ△1kg）となった。

作柄表示地帯別は、西南濃で472kg（平年に比べ+3kg）、中濃で489kg（同△1kg）、東濃で507kg（同△3kg）、飛騨で504kg（同△17kg）となった。

岐阜県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.80mm）の作況指数は100の「平年並み」となった。

作柄表示地帯別は、西南濃で101、中濃、東濃で100の「平年並み」、飛騨で98の「やや不良」となった。

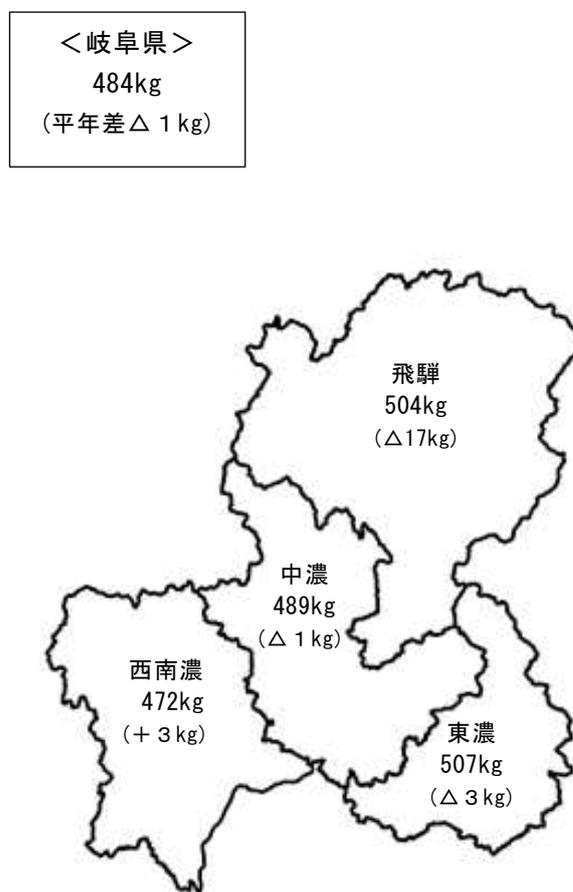
(3) 収穫量

収穫量（子実用）は10万200t（前年産に比べ600t減少）となった。このうち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は9万5,300t（前年産に比べ2,100t減少）となった。

(4) ふるい目幅別重量

ふるい目幅別重量分布状況は、1.80mm以上の玄米の重量割合が98.4%と、直近5か年平均値に比べ0.7ポイント高くなった。

図4 作柄表示地帯別10a当たり収量
（1.70mmのふるい目幅ベース）



3 愛知県

(1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（子実用）は2万5,800ha（前年産に比べ100ha減少）となった。

また、主食用作付面積は2万4,700ha（前年産に比べ500ha減少）となった。

(2) 作柄概況

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、やや少なくなった。

登熟は、全もみ数が少なかったことによる補償作用があったものの、7月からの高温等やカメムシの食害により不稔もみが多く見られたことから、平年並みとなった。

水稻の10a当たり収量は出穂前後から続く記録的な高温等の影響やカメムシによる食害等により、収量基準に満たない玄米が特に尾張及び西三河で多く見られたため、480kg（平年に比べ△27kg）となった。

作柄表示地帯別は、尾張で469kg（平年に比べ△33kg）、西三河で493kg（同△24kg）、東三河で487kg（同△14kg）となった。

愛知県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm）の作況指数は96の「やや不良」となった。

作柄表示地帯別は、東三河で98、西三河で96の「やや不良」、尾張で94の「不良」となった。

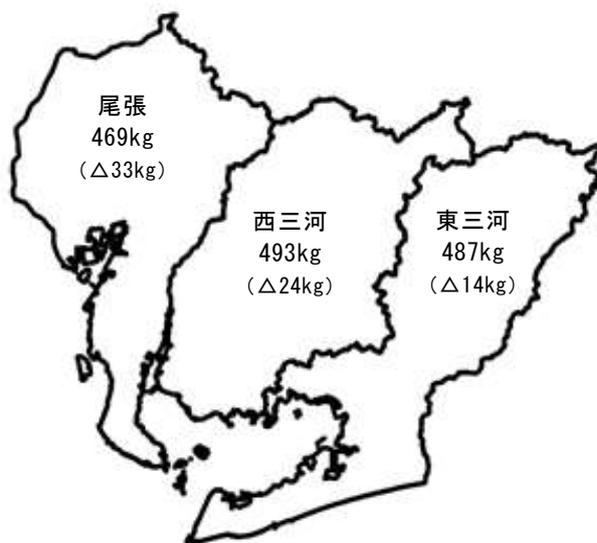
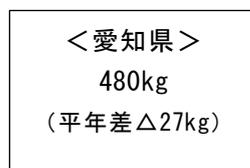
(3) 収穫量

収穫量（子実用）は12万3,800t（前年産に比べ7,000t減少）となった。このうち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は11万8,600t（前年産に比べ8,700t減少）となった。

(4) ふるい目幅別重量

ふるい目幅別重量分布状況は、1.85mm以上の玄米の重量割合が97.4%と、直近5か年平均値に比べ1.1ポイント高くなった。

図5 作柄表示地帯別10a当たり収量
（1.70mmのふるい目幅ベース）



4 三重県

(1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（子実用）は2万5,200ha（前年産に比べ400ha減少）となった。

また、主食用作付面積は2万4,900ha（前年産に比べ300ha減少）となった。

(2) 作柄概況

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数が多くなったことから、やや多くなった。

登熟は、7月からの高温等の影響で不稔もみが多かったものの、粒の肥大・充実が進んだことから、平年並みとなった。

水稻の10a当たり収量は501kg（平年に比べ+1kg）となった。

作柄表示地帯別は、北勢で490kg（平年に比べ±0kg）、中勢で501kg（同+1kg）、南勢で499kg（同+1kg）、伊賀で524kg（同+2kg）となった。

三重県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm）の作況指数は101の「平年並み」となった。

作柄表示地帯別は、北勢で102の「やや良」、中勢、南勢及び伊賀で101の「平年並み」となった。

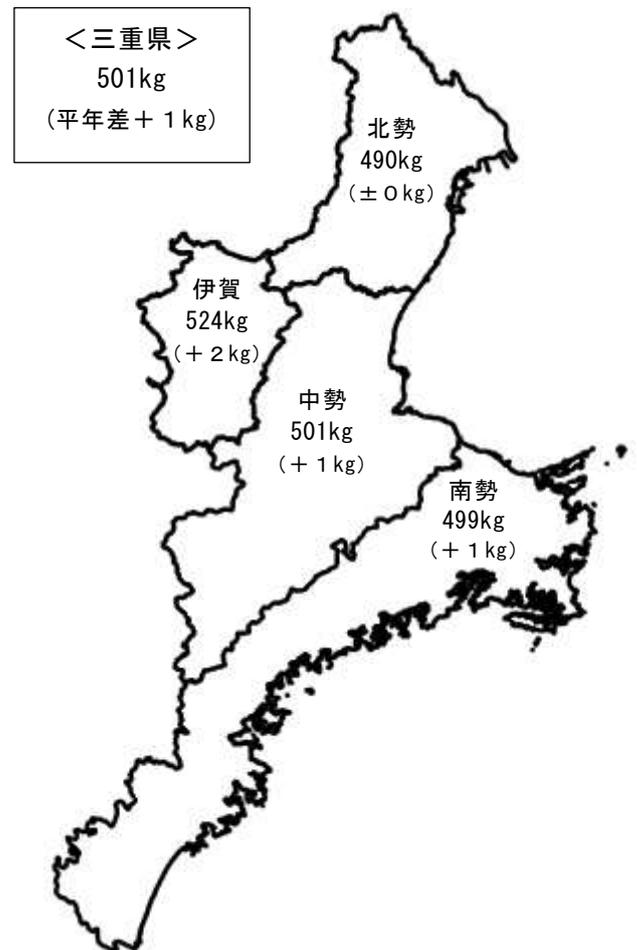
(3) 収穫量

収穫量（子実用）は12万6,300t（前年産に比べ4,500t減少）となった。このうち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は12万4,700t（前年産に比べ4,100t減少）となった。

(4) ふるい目幅別重量

ふるい目幅別重量分布状況は、1.85mm以上の玄米の重量割合が96.4%と、直近5か年平均値に比べ0.8ポイント高くなった。

図6 作柄表示地帯別10a当たり収量
（1.70mmのふるい目幅ベース）



【統 計 表】

統計表一覧

ページ

1	令和5年産水稻の作付面積及び収穫量	13
2	令和5年産水稻の収量構成要素（水稻作況標本筆調査成績）	14
3	令和5年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況	15
4	令和5年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量	16
5	令和5年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）	16
6	令和5年産水稻における農家等が使用したふるい目幅の分布	17
7	令和5年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況	17
8	令和5年産水稻の作柄表示地帯別玄米重歩合	17
9	令和5年産水稻の被害面積及び被害量（東海3県）	17

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100以下)
四捨五入する桁数 (下から)		2桁		1桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前 (原数)	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
「0」、「0.0」：増減がないもの
「－」：事実のないもの
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「△」：負数又は減少したもの
- 3 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和5年産水稻の収穫量」（東海農政局）による旨を記載してください。

1 令和5年産水稻の作付面積及び収穫量

区 分	作付面積（子実用）			10 a 当たり 収 量 ②	農家等が使用しているふるい目幅で選別 (岐阜県1.80mm、愛知県及び三重県1.85mm)		
	実 数 ①	前年産との比較			10 a 当たり 収 量 ③	10 a 当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤=③/④
		対 差	対 比				
	ha	ha	%	kg	kg	kg	
東海3県	71,700	△ 400	99	489	475	481	99
岐 阜 県	20,700	0	100	484	476	475	100
西 南 濃	11,500	300	103	472	463	457	101
中 濃	3,740	△ 220	94	489	482	481	100
東 濃	2,840	△ 60	98	507	502	501	100
飛 騨	2,590	△ 10	100	504	499	511	98
愛 知 県	25,800	△ 100	100	480	468	489	96
尾 張	12,400	100	101	469	457	486	94
西 三 河	8,950	△ 60	99	493	479	497	96
東 三 河	4,450	△ 50	99	487	476	484	98
三 重 県	25,200	△ 400	98	501	483	478	101
北 勢	8,020	△ 110	99	490	474	466	102
中 勢	8,950	△ 80	99	501	480	477	101
南 勢	3,880	△ 110	97	499	487	481	101
伊 賀	4,380	△ 30	99	524	505	502	101

区 分	収穫量（子実用）			主 食 用 作付面積 ⑦	収 穫 量 (主食用) ⑧=⑦×②
	実 数 ⑥=①×②	前年産との比較			
		対 差	対 比		
	t	t	%	ha	t
東海3県	350,300	△ 12,100	97	69,300	338,600
岐 阜 県	100,200	△ 600	99	19,700	95,300
西 南 濃	54,300	900	102
中 濃	18,300	△ 1,300	93
東 濃	14,400	0	100
飛 騨	13,100	△ 100	99
愛 知 県	123,800	△ 7,000	95	24,700	118,600
尾 張	58,200	△ 3,200	95
西 三 河	44,100	△ 2,400	95
東 三 河	21,700	△ 800	96
三 重 県	126,300	△ 4,500	97	24,900	124,700
北 勢	39,300	△ 1,400	97
中 勢	44,800	△ 1,500	97
南 勢	19,400	△ 900	96
伊 賀	23,000	△ 500	98

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 3 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については、県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 4 ③10 a 当たり収量、④10 a 当たり平年収量及び⑤作況指数については、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 令和5年産水稻の収量構成要素（水稻作況標本筆調査成績）

区 分	1 m ² 当たり株数		1 株 当 たり 有 効 穂 数		1 m ² 当 たり 有 効 穂 数		1 穂 当 たり も み 数		1 m ² 当 たり 全 も み 数		千 も み 当 たり 収 量	
	本 年	対 平 年 比	本 年	対 平 年 比	本 年	対 平 年 比	本 年	対 平 年 比	本 年	対 平 年 比	本 年	対 平 年 比
	株	%	本	%	本	%	粒	%	100粒	%	g	%
東 海 3 県	16.0	99	22.3	98	357	97	79.3	104	283	101	17.9	99
岐 阜 県	15.1	96	22.8	102	345	98	78.8	104	272	101	18.3	99
愛 知 県	16.9	100	21.2	96	358	96	76.8	100	275	96	18.0	99
三 重 県	15.9	99	23.0	99	365	98	81.9	107	299	105	17.5	98

区 分	粗 玄 米 粒 数 歩 合		玄 米 粒 数 歩 合		玄 米 千 粒 重		10 a 当 たり 粗 玄 米 重		玄 米 重 歩 合		10 a 当 たり 玄 米 重	
	本 年	対 平 年 比	本 年	対 平 年 比	本 年	対 平 年 比	本 年	対 平 年 比	本 年	対 平 年 比	本 年	対 平 年 比
	%	%	%	%	g	%	kg	%	%	%	kg	%
東 海 3 県	82.0	96	97.4	101	22.4	102	514	99	98.4	101	506	99
岐 阜 県	82.4	98	96.4	100	23.1	102	508	101	98.0	100	498	101
愛 知 県	80.7	95	97.7	101	22.9	104	502	95	98.8	101	496	96
三 重 県	83.6	96	96.8	101	21.6	100	532	101	98.3	101	523	102

注：1 対平年比とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1 m²当たり株数等）の平年値との対比である。

2 千もみ当たり収量、玄米千粒重及び10 a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 令和5年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況

区 分	ふるい目幅別重量分布状況						
	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
	%	%	%	%	%	%	%
東海3県	100.0	0.7	1.0	1.3	1.8	6.7	88.5
岐阜県	100.0	0.7	0.9	1.0	1.9	5.5	90.0
西南濃	100.0	0.8	1.1	1.2	2.1	5.8	89.0
中濃	100.0	0.6	0.9	1.0	1.8	5.4	90.3
東濃	100.0	0.4	0.6	0.7	1.3	4.7	92.3
飛騨	100.0	0.4	0.5	0.6	1.5	5.1	91.9
愛知県	100.0	0.6	0.9	1.1	1.7	6.6	89.1
尾張	100.0	0.6	0.9	1.0	1.8	6.7	89.0
西三河	100.0	0.6	1.0	1.2	1.8	6.9	88.5
東三河	100.0	0.4	0.8	1.1	1.5	5.8	90.4
三重県	100.0	0.8	1.2	1.6	1.8	7.8	86.8
北勢	100.0	0.7	1.1	1.5	1.9	7.7	87.1
中勢	100.0	0.9	1.4	1.8	2.0	8.8	85.1
南勢	100.0	0.6	0.8	1.1	1.2	4.7	91.6
伊賀	100.0	0.8	1.3	1.6	2.0	8.8	85.5

区 分	対平均差					
	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント
東海3県	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.6	△ 4.4	6.0
岐阜県	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.9	△ 0.6	△ 6.5	8.7
西南濃	△ 0.2	△ 0.6	△ 1.0	△ 0.9	△ 8.2	10.9
中濃	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.0	△ 4.1	4.9
東濃	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.3	△ 3.4	5.0
飛騨	△ 0.4	△ 0.6	△ 1.4	△ 1.0	△ 6.8	10.2
愛知県	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.9	△ 4.6	6.6
尾張	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.7	△ 0.7	△ 3.4	5.1
西三河	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.8	△ 4.1	6.1
東三河	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.8	△ 1.6	△ 8.8	12.1
三重県	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.4	△ 2.6	3.8
北勢	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.8	△ 0.5	△ 3.5	5.7
中勢	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.4	△ 2.5	3.5
南勢	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3	△ 3.9	5.0
伊賀	0.1	0.1	△ 0.2	0.2	0.0	△ 0.2

注：対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

4 令和5年産水稻玄米のふるい目幅別10a 当たり収量

単位：kg

区 分	ふるい目幅別10a 当たり収量 (kg)					
	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
東 海 3 県	489	486	481	474	466	433
岐 阜 県	484	481	476	471	462	436
西 南 濃	472	468	463	457	447	420
中 濃	489	486	482	477	468	442
東 濃	507	505	502	498	492	468
飛 騨	504	502	499	496	489	463
愛 知 県	480	477	473	468	459	428
尾 張	469	466	462	457	449	417
西 三 河	493	490	485	479	470	436
東 三 河	487	485	481	476	468	440
三 重 県	501	497	491	483	474	435
北 勢	490	487	481	474	465	427
中 勢	501	496	489	480	470	426
南 勢	499	496	492	487	481	457
伊 賀	524	520	513	505	494	448

注： ふるい目幅別10a 当たり収量とは、県及び作柄表示地帯別の10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

5 令和5年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）

単位：t

区 分	ふるい目幅別収穫量 (子実用) (t)					
	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
東 海 3 県	350,300	347,800	344,300	339,800	333,500	310,000
岐 阜 県	100,200	99,500	98,600	97,600	95,700	90,200
西 南 濃	54,300	53,900	53,300	52,600	51,500	48,300
中 濃	18,300	18,200	18,000	17,800	17,500	16,500
東 濃	14,400	14,300	14,300	14,200	14,000	13,300
飛 騨	13,100	13,000	13,000	12,900	12,700	12,000
愛 知 県	123,800	123,100	121,900	120,600	118,500	110,300
尾 張	58,200	57,900	57,300	56,700	55,700	51,800
西 三 河	44,100	43,800	43,400	42,900	42,100	39,000
東 三 河	21,700	21,600	21,400	21,200	20,900	19,600
三 重 県	126,300	125,300	123,800	121,800	119,500	109,600
北 勢	39,300	39,000	38,600	38,000	37,300	34,200
中 勢	44,800	44,400	43,800	43,000	42,100	38,100
南 勢	19,400	19,300	19,100	18,900	18,700	17,800
伊 賀	23,000	22,800	22,500	22,100	21,700	19,700

注： ふるい目幅別収穫量（子実用）とは、県及び作柄表示地帯別の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

6 令和5年産水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布

【令和5年産水稲作況標本（基準）筆農家からの間取り結果】

単位：%

区 分	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
東海3県	100.0	0.3	-	18.1	61.6	19.2	0.8
岐阜県	100.0	1.1	-	40.6	52.0	3.4	2.9
愛知県	100.0	-	-	2.8	47.7	49.5	-
三重県	100.0	-	-	15.4	81.6	3.0	-

注：農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稲作況標本（基準）筆農家を使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

7 令和5年産水稲の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況

単位：%

区 分	計	100kg 未 満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以 上
東海3県	100.0	0.2	1.0	2.6	9.3	34.6	37.4	13.8	1.1	-
岐阜県	100.0	-	-	2.2	8.7	39.7	38.6	10.3	0.5	-
愛知県	100.0	0.5	1.4	3.8	12.4	32.5	34.1	13.4	1.9	-
三重県	100.0	-	1.3	1.7	7.0	32.3	39.8	17.0	0.9	-

注：10a当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

8 令和5年産水稲の作柄表示地帯別玄米重歩合

単位：%

区 分	玄米重 歩合	区 分	玄米重 歩合	区 分	玄米重 歩合
岐阜県	98.0	愛知県	98.8	三重県	98.3
西南濃	97.6	尾張	98.8	北勢	98.6
中濃	98.0	西三河	98.6	中勢	98.0
東濃	99.0	東三河	99.0	南勢	99.0
飛騨	99.0			伊賀	98.2

注：1 作況標本筆のデータにより取りまとめたものである。

2 1.70mmのふるい目幅で選別された10a当たり玄米重及び粗玄米重より推計したものであり、粗玄米から得られる玄米の重量の割合をいう。

9 令和5年産水稲の被害面積及び被害量（東海3県）

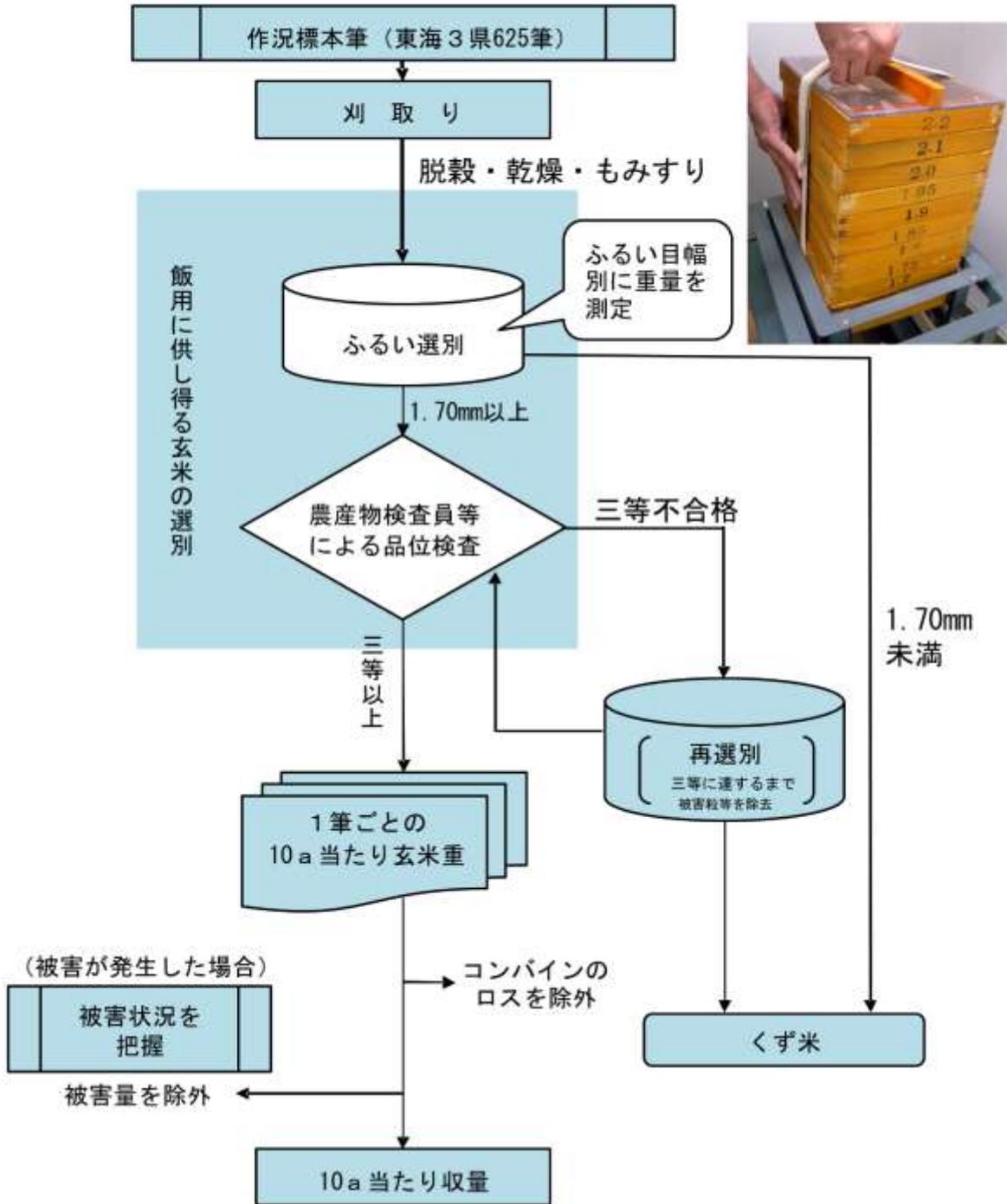
被害種類	被害面積	被害量	被害率	
			実数	対前年差
冷 害	ha	t	%	ポイント
	-	-	-	-
日照不足	47,100	3,920	1.1	△ 0.5
高温障害	44,700	5,260	1.5	1.2
いもち病	14,500	2,670	0.7	△ 0.3
ウンカ	2,900	432	0.1	0.0
カメムシ	24,700	5,010	1.4	1.1

注：被害率とは、平年収量（作付面積×10a当たり平年収量）に対する被害量の割合である。

【参考 1】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考 2】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考 2】

ふで
作況標本筆とは

ふで
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）は、各県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（東海3県で625筆）調査している。

全国の全ての土地
(母集団)



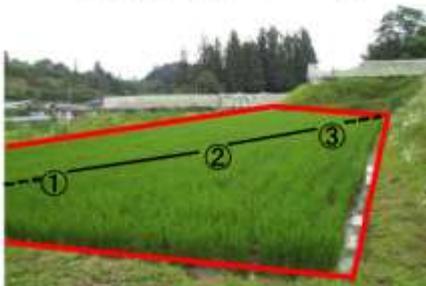
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(200m四方の土地)



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(東海3県で625筆)



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

- ・面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

- ・作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

- 調査対象数

- ・作付面積調査

標本単位区数：2,535単位区

- ・収穫量調査

作況標本筆：625筆 作況基準筆：16筆

- 作柄表示地帯

東海3県の各作柄表示地帯の包括範囲は、下表のとおり。

区分	地帯名	包 括 市 町 村
岐阜県	西南濃	岐阜市、大垣市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町
	中濃	関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
	東濃	多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市
	飛騨	高山市、飛騨市、下呂市、白川村
愛知県	尾張	名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
	西三河	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町
	東三河	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
三重県	北勢	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
	中勢	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町
	南勢	伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
	伊賀	名張市、伊賀市

【水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【Webサイト掲載案内】

- ・ この統計調査結果は、東海農政局Webサイトの「農林水産統計」で御覧いただけます。
<https://www.maff.go.jp/tokai/tokei/kohyo/schedule/index.html>
- ・ 全国値の詳細は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y5
- ・ 確定した詳細な数値は、Webサイトに掲載（令和6年2月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、Webサイトでお知らせします。

【関連リンク】

- ・ 農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局
<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>
- ・ 気象庁
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

東海農政局 統計部 生産流通消費統計課
電話：052-763-4732

◎農林水産統計全般について

東海農政局 統計部 統計企画課
電話：052-763-4730



政府統計

政府統計の総合窓口

(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



令和5年11月1日現在で、2023年漁業センサスを実施します。
(流通加工調査については令和6年1月1日現在)